

「映像新聞」追加送付サービス

定期ご購読者のリモートワーク先へ
ご好評につき提供期間を延長

昨今、在宅勤務やテレワークが進んでいることを受けまして、弊社では定期購読者様向けに、ご自宅やリモートワーク先でも映像新聞をお読みいただけるよう、追加送付サービス(無料)を実施しておりますが、ご好評につき、提供期間を延長(期限未定)いたします。引き続きサービスをご利用ください。

追加送付のお申し込みは、弊社ウェブサイトのみからの受付となります。

この機会に、映像新聞をさらにじっくりとお読みいただけましたら幸いです。

お申し込み = www.eizoshimbun.com

映像新聞社

1人である故・
羽倉賞は、表



受賞者と表技協の関係者

都港区の品川イ

ンターシティホ

ールで開かれた

「FORUM 8

デザインフェス

ティバル202

1」(フォーラ

ムエイト主催)

内に実施された。

羽倉賞は、表

(映文連)は、技術セミナー「映像製作におけるIP伝送最前线」(Zo)特にIPによる映像伝送

の発展に貢献された、業界関係者(個人・団体)を対象とした表彰制度で、今年で34年目を数える。

「ケーブルマン・オブ・ザ・イヤー2021」▽

高田光浩氏(ケーブルテ

レビ代表取締役)▽JC

OM「東京2020パラ

リンピック放送プロジェクト

「特別賞」▽トム・ペリ

ー氏(前ターナージャパン最高責任者)▽ジエナ・ルマネージャー)▽松本修一氏(日本ケーブルラ

CRIが「2021年ケーブルマン」

高田社長らを選出

12月9日に記念講演会と贈呈式

1」を選出した。「ケーブルマン・オブ・ザ・イヤー2021」は、CATV業界の発展に貢献された、業界関係者(個人・団体)を対象とした表彰制度で、今年で34年目を数える。

「ケーブルマン・オブ・ザ・イヤー2021」▽

タービル(東京・内幸町)10階ホール

【参加費】5000円

【申し込み・詳細】[www.cri-info.jp/20211115_6240.html](http://cri-info.jp/20211115_6240.html)

表技協が「第5回羽倉賞」表彰式

理化学研究所のAI認識空間音響技術が最優秀賞

創設。分野を

問わず最先端

の表現技術を

活用した「作

品」および

「取り組み」を通じて社

会に貢献した功績を表彰

している。

最優秀賞「羽倉賞」に

は、理化学研究所革新

知能統合研究センターのA

Iジエスチャー認識「So

und Scope Phone」を生

かした空間音響技術が選

羽倉弘之氏の功績を称え、

表現技術の質を高めて広

く分野への普及に貢献す

るため、2017年に

表彰式が11月18日、東京

の「第5回羽倉賞」の

い分野への普及に貢献す

るため、2017年に

映文連が技術セミナー

映像制作におけるIP伝送

広い視点で最新動向を考察

映像制作の手法やビジ

多様な新技

術や新製品

が登場し、

成し、広い視点からIP

をテーマにしたセミナー

を実施する。

映像制作の手法やビ

ジニア内容

映像制作の手法やビ